

つくば研究コミュニティの可視化と連結

萩原 友希江・加藤 英之（筑波大学 URA 研究戦略推進室）

池田 進・高瀬 久美子

（高エネルギー加速器研究機構 研究支援戦略推進部 大学・産業連携推進室）

● 背景

つくばは世界でも稀に見る研究資源密集地帯であり、各研究機関の持つ独自の研究資源を融合することによる継続的なイノベーション創出を期待されている。各機関のウェブサイトを見れば多数の研究コミュニティが存在しポテンシャルの高さが伺える。しかし、コミュニティの非連動性が現在のつくばエリアの大きな課題であるともいえる。

我々の取り組みは、研究コミュニティの可視化を行い、研究コミュニティや個人の自主的な連結可能性をはかり、“研究者同士の化学反応”を引き起こすこと。さらに、その連結をサポートするための研究支援人材ネットワークを構築することである。

① つくばの研究コミュニティガイド「TREE」

つくばエリアに所在する研究者コミュニティ（仲間）が簡易な手順で見栄え良く情報発信できる SNS（もちろん無料）。研究者向けイベント広報にも最適。

② Tsukuba Future Dome Symposium

未来のドーム都市開発をテーマにさまざまな分野の研究者が自身の研究分野の話題を提供し議論を行うシンポジウムを2回開催。宇宙観測＋農業工学、構造材料＋農業＋エネルギーなどの3つの分野融合プロジェクトが動き出している。

③ 第1回つくば研究支援情報交換会「つくば連携に使える研究資金」

つくば地区の研究開発法人に所属する研究支援・戦略・企画担当職員を対象に、各機関内で実施する研究資金公募情報などを持ち寄り、活用に向けた意見交換を行った。リクエストに応え仕事に使える情報とネットワーク作りの会を今後も実施予定。

